

# 最近の雇用情勢について

(令和3年5月)

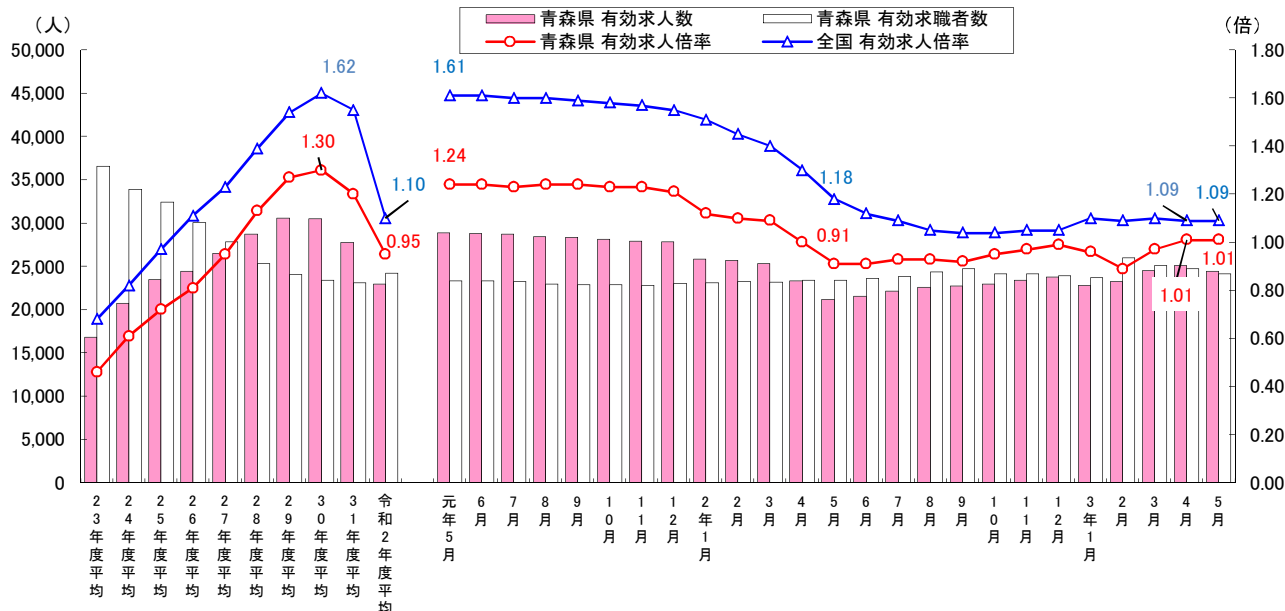
青森労働局

職業安定部

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

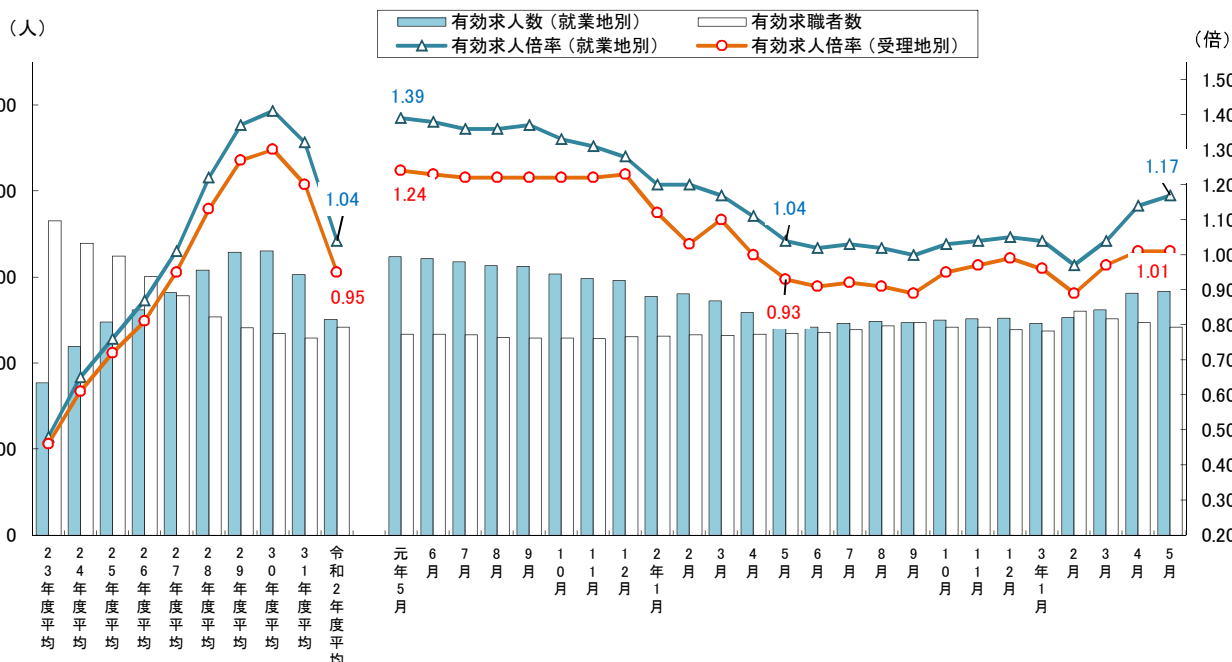
5月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ2.6%減少し24,406人、有効求職者数（同）は2.37%減少し24,132人で、有効求人倍率（同）は1.01倍となり、前月と同水準となった。  
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.17倍で前月に比べ0.03ポイント上回り、受理地別の倍率を0.16ポイント上回った。

### 受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。  
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

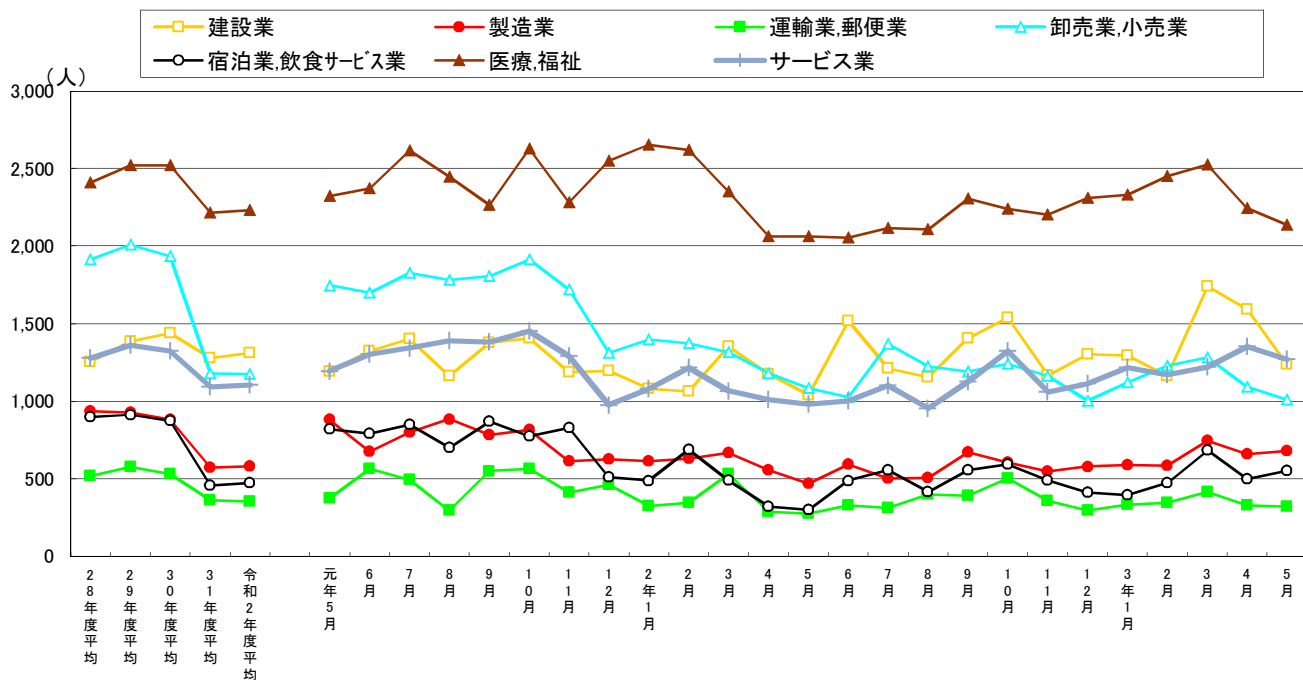
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和2年12月以前の数値は、令和3年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

5月の新規求人数(原数値)は前年同月比12.8%(947人)増加の8,353人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月と比較して建設業、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、サービス業等で増加し、卸売業、小売業等で減少した。

製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、電気機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、鉄鋼業、非鉄金属製造業等で減少した。



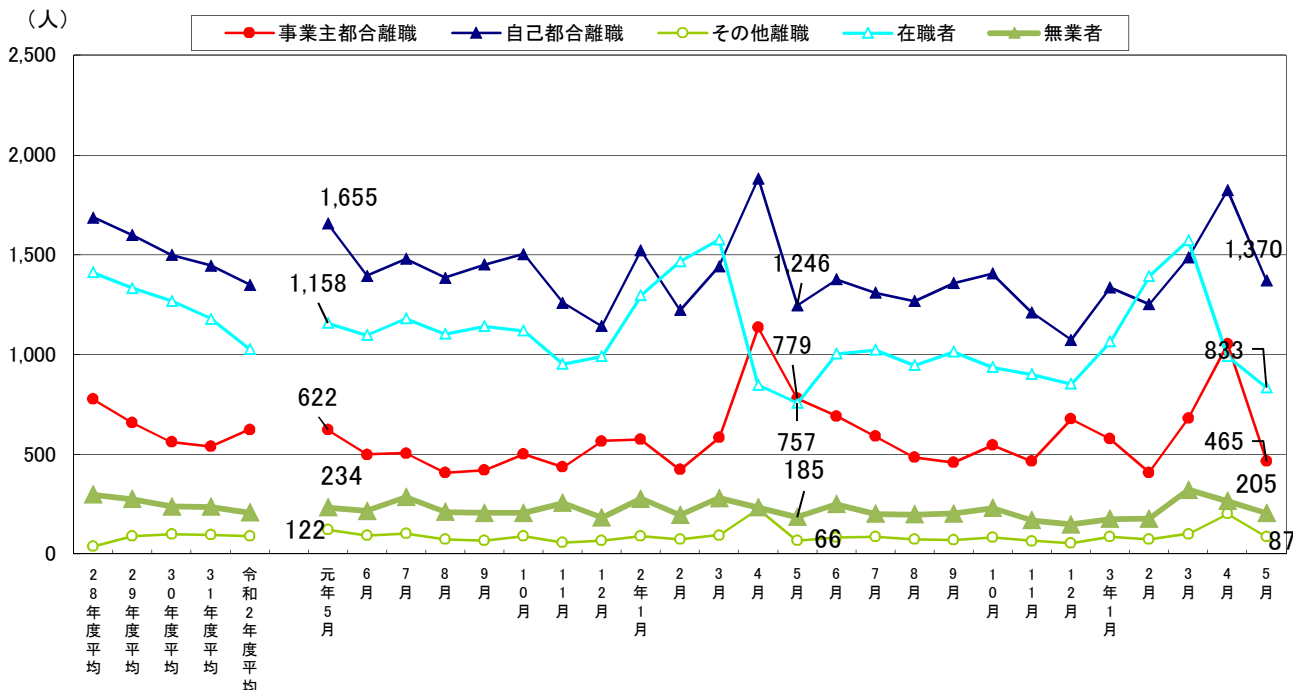
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

5月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比2.4%(73人)減少の2,960人。

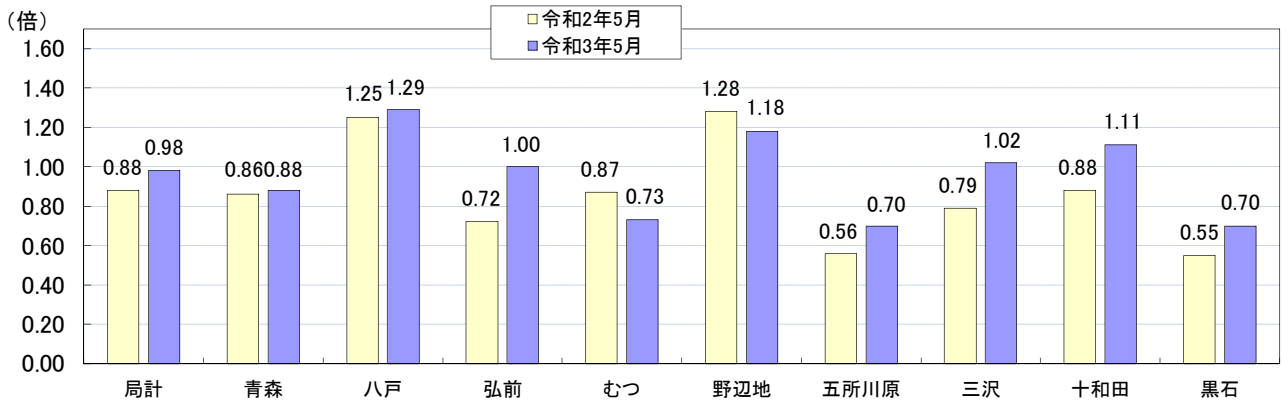
在職区分別に前年同月と比較すると、在職者は10.0%(76人)増加、離職者は8.1%(169人)減少、無業者は10.8%(20人)増加した。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比40.3%(314人)減少し、自己都合離職は同10.0%(124人)増加した。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

5月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.98倍となり、前年同月より0.10ポイント上昇した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R3.5	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,581	6,136	5,433	4,377	1,399	907	2,376	1,348	1,183	1,422
有効求人数	24,169	5,386	7,008	4,364	1,023	1,066	1,653	1,371	1,309	989

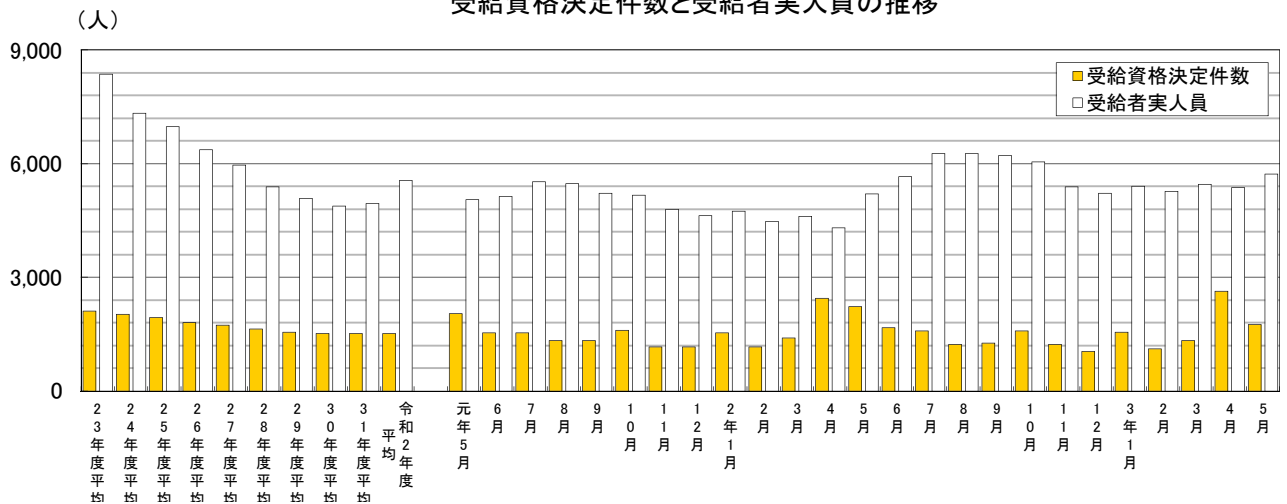
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

5月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比10.0%(519人)増加、前月比では6.4%(344人)増加の5,721人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比21.4%(476件)減少、前月よりも33.7%(888件)減少し1,748件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比67.9%(363人)減少、前月比74.3%(498人)減少し172人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

